

根巻防止コンテナを活用した ナシ新品種「玉水」の大苗育成法


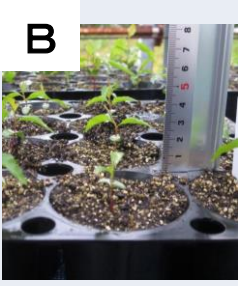



背景

県育成のナシ新品種「玉水」の早期成園化のために、大苗を定植することが有効ですが、苗の育成に4年間（台木2年間、接ぎ木後2年間）かかることが課題となっていました。

成果の内容

根巻を防止する育苗容器（コンテナ）を活用することで、「玉水」大苗の育成期間を2年間（台木1年間、接ぎ木後1年間）に短縮しました。

根巻防止コンテナを活用した「玉水」大苗の育成法

1年目				2年目	
1～2月	3～5月	6月	11月	3月	12月
台木を播種	台木を育成	露地ほ場移植	台木を移植	接ぎ木	出荷
A 	B 		C 	D 	E 

A、B マルチキャビティコンテナ（側面の突起が、根巻を防止）

C、D Mスターコンテナ（根は側面の溝に沿って伸び、根巻しない）

E 「玉水」大苗（幹長約3m、ポット苗として出荷）

根巻防止コンテナ育成法における「玉水」大苗の成苗率

幹長 (m)	幹径 ¹⁾ (mm)	成苗率 (%)
3.3	12.0	100

1) 幹長2m部分の径

○根巻防止コンテナで育成した「玉水」大苗の成苗率（幹長2.5m以上かつ幹径10mm以上の苗の割合）は100%でした。

【研究部のコメント】

○V字ジョイント仕立てを導入するには大苗育成はなくてはならない技術です。本技術により、ナシ産地における「玉水」の早期成園化が期待されます。（苗木・花き部 苗木チーム）

